

2022.9.15 (木)  
第10回例会  
(通算3679回)

## 2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄  
副会長 清水 輝彦  
幹事 中島 政徳  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2022-2023 年度  
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度  
R1会長 ジェニアファー・ジョーンズ  
第2500地区ガバナー  
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	基本的教育と識字率向上月間
本日のプログラム	情報集会報告会 (担当: クラブ研修委員会)
次週例会	夜間例会「ひがし北海道の魅力を伝える！」(担当: プログラム委員会)

- ロータリーソング: 我等の生業
- ソングリーダー: 池田 一己君
- 会員数 104 名
- ビジター なし
- ゲスト なし

### 会長の時間

滝越 康雄会長

皆さま、お食事をそのままお続けください。

会長挨拶ですが、行事の報告が1つあります。先週の土曜日、釧路ローターアクト



の清掃奉仕事業に私と中島幹事が参加してきました。参加は30名まではいかないのですが結構集まってごみ拾いをしました。人はいっぱいいるのですが、肝心のごみが全くなくて探すのが大変でした。お財布でも落ちてないかとか、人の骨が出てきて事件になってマスコミ・警察が来ないかとか、くだらない発想をしながら、一度ごみ拾いをやった後の場所みたいでその成果はなかったです。

その晩は花火大会の日だったので、考えてみたら「どんぱくの花火大会」をやった後の会場の方が成果あったなと思いました。口を出すわけではないですけど、企画でちょっと惜しかったなという気がしております。

その後、懇親会もあって参加してきましたが、ローターアクトの若い方ですから年のギャップもありました。若い人たちの支援に参加はしたいと思いますが、なかなか思い切らないと出られる事業ではないなと感じました。そのような報告です。

だんだん幹事から来る案内のメールも少なくなってきて、ちょっと一服気味でございます。いずれにしてもスムーズにやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

今日は登壇者が多いので、テーブルの島が全部埋まっている状態です。皆さんには落ち着いてお話しできるように時間を配分しておりますので、会長挨拶としてはこの程度とします。ありがとうございました。

### 市橋前年度幹事

皆さま、こんにちは。前年度幹事の市橋です。2021-2022年度の釧路ロータリークラブの会報誌が出来上りました。事務局に10冊ほどのストックがありますので会報誌・本誌が必要な方は私か事務局員の大山さんにご一報いただければと思います。また、会員の皆さま方にPDFのデータを入れたメモリースティックをパーソナルボックスに入れてお渡しさせていただいております。そちらには同じデータが全て入っておりますので、ご自分のPCでご覧になってください。そちらのPDFには特別な表紙が封入されております。こちらには載っていない特別版ですので、ぜひ皆さま方お楽しみにお願ひします。以上でございます。

■本日のプログラム■  
情報集会報告会

クラブ研修委員会 杉村 莊平委員



皆さん、こんにちは。研修委員会の杉村です。滝越年度、初めての情報集會を先日開催させていただきました。皆さま、お忙しい中、ご出席

いただきましてありがとうございました。

今回はAグループからJグループの10グループで議論していただき、9月1日から13日にかけてご出席いただきました。内容は釧路クラブが行っている青少年奉仕活動、その中で特にアイスホッケーについてのいわゆる発展性・意義・必要性について中心に議論をしていただきました。

僕も5グループぐらいに出席させていただきましたが、皆さんに活発な議論していただきまして、非常に良い意見が出るだろうと思っております。

もうひとつ、裏目的として、この情報集會をいままで5,000円で行ってききましたが、1,000円くらい上げて6,000円でいかがでしょうかと議論していただきましたが、大体は快く賛同いただいたと聞いておりますが、その辺も少し発表していただければと思います。

それではAグループから順番に進めていきたいと思っております。テーブルには出席人数・開催場所は出ていますのでそこは割愛して、3分間程度でお話いただければと思います。

特にBグループ、Cグループと言いませんので、終わり次第、次に進んでいただければと思います。去年はあまり気を使い過ぎて早口で喋って時間が余ったこともあります。お任せしますが、センスに任せていい発表していただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

Aグループ 甲賀伸彦君



Aグループから発表させていただきます。リーダーは森村君、サブリーダーは私、そしてAグループは普段あまり来られ

ない方がおられて、北さん、西池さん、羽田野さんの5名と、クラブ研修委員会の天方委員長に参加していただきました。

まず天方委員長から「情報集會をどうして『炉辺』というのか」から復習してもらった次第です。

私は経験はないのですが、以前はこれを家庭集會とやったこともあると伺いました。今は会員さんのお店でやっていますが、「誰かのご自宅で奥さまが手料理を作りながら、ひざを合わせてこの情報集會を行ったので炉辺集會というのだ」というお話でした。

今回参加された方は、「それは奥さまに大変なご苦労かけた会だったのですね」という話をしています。

私も入会から結構経っていますけれど、30年ぐらい前はやられていたのですね。そのころの話をもしB以降の方から聞ければいいなと思っている次第です。

新入会員の方ばかりでしたので、本来はアイスホッケーの話をしなけりばないのしょうけれど、「それより、この炉辺を通じて人を知ってもらって、だんだん例会にも出てくるようになればいいね」と天方委員長からお話がありました。

先ほど、杉村さんからお話ありましたが、天方さんより「どの情報集會の会場でも、店主がとても頑張っている料理を出していただいて、5,000円では原価ぎりぎりではないかな。6,000円にしてはどうですか」を諮ったところ、皆さんも「6,000円でいいのではないか」と全員一致になっております。

ただし、その負担割合を4,000円・2,000円とし、個人を4,000円とするのか、あるいは3,000円・3,000円にするのかはクラブの予算もありますので来年度以降ご検討いただければというところですよ。

この6名は、情報集會の2時間だけでは足りませんで、その後全員でバーに行ったところ、「俺の酒あるから出してくれ」と何名かが言ったので6名で行って6本の高級なお酒が、一番端には『山崎』などが並んでおりました。「なんなのだ、この人たち」、だったのです。そこでも皆さんは業界の話の当然されておりましたが、下期もぜひこのメンバーでやらせてもらいたいという話で、たまには上期・下期を同じメンバーでやるのもひとつの案ではないのかなと思っておりました。

以上、私からご報告させていただきます。ちょうど3分位になりましたので次のBグループの方、よろしく願いいたします。

Bグループ 浅川 正紳君



Bグループです。サブリーダーが当日と本日がお休みということで、石井リーダーから議事録が送られて来ておりますので、私、浅川が発表させていただきます。

研修委員会から2つテーマをいただきまして、先にアイスホッケーロータリーカップの件で今後どうしたらいいかの話をしました。

当グループではロータリー歴の長い泉先生もおりましたので、経緯を思い出してみたのですが、泉先生が会長の時にこのロータリーカップが始まりました。その5年後、私の父が会長の時に60周年の記念事業で、この優勝旗と優勝カップを作った経緯がありました。何とも話しにくい雰囲気の中、今後どうしたらいいかの話がされました。

忌憚のない話をしている中で、「30年近く続いているロータリーカップなので、今すぐに止めずに90周年まで続けてはいかがか」という意見、また「奉仕活動は長く続けることも大事ですが、5年ぐらいの周期で他の活動を考えることも必要ではないか」という意見がありました。釧路のアイスホッケー事情に詳しい方がいたので「いまどういう状況で学生はやっているのか」の話になりました。釧路のホッケー人口は減っていますが、武修館高校では逆に寮を増設するぐらい増えています。コロナ禍で年間の試合数が減っているのに、試合に出る機会の少ない学生にとっては、このロータリーカップに期待しています。また学生にとって、いろいろな大会にスカウトが来ておりますので、その貴重な機会を利用して進学など考えている学生もいます。このことから「今すぐ中止にするというのはどうなのかな。時間をかけてアナウンスをしてから中止をするときはするものひとつ」というご意見もありました。

また、「高校生の大会に限らず、ロータリーカップとして大学生や道外のチームと釧路のチームが対戦するなど幅広い大会にしても面白いのではないか」「他の競技でやる方法もあるのでは」と、いろいろな意見が出まして、存続についてこれという結論はありませんでした。

2つ目のテーマ、会費についても全員一致で賛成ということでした。1人1,000円増えて4,000円と2,000円という6,000円の案もありました。「現状では値上がりラッシュの中、6,000円で足りるのかな、クラブでさらに500円、もしくは1,000円アップして6,500円、7,000円でやるべきかな」という意見もありました。ほとんど飲み放題の状態になっていると思います。そのようにすると、お店とお互いに快くできるという意見もありました。

そういった話をしながら、その後に『鱗』で反省会をして、その先は覚えていないのです。大変盛り上がった情報集会だったかと思います。

石井リーダー、こんな感じでよろしいでしょうか。石井リーダーの了解が得られましたので、Bチームの発表はこれとさせていただきます。ありがとうございます。

## Cグループ 吉田 容広君



Cグループの吉田です。12日に『醍醐』さんで情報集会を開かせていただきました。出席者は8名と出席率が高く、その場に研修委員会の杉村委員をお招きし、和気あいあいとやらせていただきました。

リーダーの瀧波会員は「リーダー経験が初めてだ」と仰っていましたが、とてもスムーズな進行に感心させられました。

まず、アイスホッケーについてということですが、皆さんからそれぞれ意見を出していただきました。

基本的には「継続した方がいいのではないか」という意見が多かったです。まず「会員と大会のかかわりが薄くなってきているので、会員が一生懸命応援することが大切ではないか。その中で、子どもたちにロータリー活動に対する理解の向上を図る必要があるのではないか」という意見が出ました。

「最近では他の地域のチームも参加されているから、地域の活性化への貢献度もあります」という意見。私は存じ上げなかったのですが「この大会が始まった経緯は、大会に出場できない選手たちが活躍できる場として、応援する場を作ることが始まりだった。当初の役割はすでに終わっていると思います」「これだけ長く続けてきてしまったから止められないという理由なのであれば、止めることを検討することも必要なのでは」という意見もいただいています。

あとは「事業に関する予算や決算が少し分かりにくい。まずは分かりやすくすること。その後に検証・総括をしっかりと、時間をかけて継続するかどうか審議を行うべきだ」という意見にまとまりました。結果としては「今回どうするという結論には至らず、検証した後で結果をじっくり考えて出そう」がわれわれのグループ意見です。

その他に別の角度から意見があったのでご紹介させていただきます。「ロータリークラブは嵯峨記念育英会などの奨学金の制度があって、子どもたちに対する支援は大きいものがある。その子たちは将来進学して、釧路を離れてしまうことが多く、とても残念だと思います。将来、地元で活躍できるステージや釧路の未来を見せてあげることができるようなキャリア教育をクラブと企業との連携でできないものか」という意見があり、うなずいて聞いたものです。

続きまして、情報集会に関する費用の件ですが、この議題になった途端、皆さんはお金のことには興味があるのだなと思ったぐらい活発に意見が交わされ、概ね理解は得られました。「情報集会に限らず、各委員会



活動においてもコロナ禍の影響でここ数年は満足な活動ができていない。その結果、クラブに資金的な余裕があるのであればクラブの負担を増やしてでも多くの人に集まっていただき、活動の場を増やし、飲食店様の支援をするなどの工夫はできないのかな」という意見が出ておりました。

その他、釧路ロータリークラブの歴史の話や昔話、海外クラブの動向、衛星クラブのあり方、女性会員に対する考え方、相手の心に染みるスピーチの仕方、旅行会の結成、などいろんな話題が矢継ぎ早に出てきて、あつという間の2時間でした。

私、個人としては情報集會に初めて参加させていただきましたが、大変勉強になりました。以上で報告とさせていただきます。ありがとうございました。

### Dグループ 松井 聖治君



Dグループリーダーを仰せつかりました松井です。発表が久しぶりですので大変緊張しております。よろしくお願いいたします。

Dグループは『ぎゅう太』さんで9月7日に行いました。メンバーにサントリーの有馬さんがいて、私はお話をするのは初めてでした。凛々しい顔のカッコいい方ですけれど、聞いてみたいと思っていたことで、「有馬さん、ビールの銘柄を当てられますか」と聞いたら、「当てられます」とのことでした。研修などもあるそうです。格付けチェックがあったなら、ぜひ「有馬さんV S 青田さん」みたいなビール当てをやっていただく企画ができると考えながら情報集會に入らせていただきました。

サントリーさんとサントリービバレッジさんがいたのですが、サッポロビールで乾杯し、スタートしました。私の目の前には小船井パストガバナーがおりましたので、真面目にお話をお聞きしていました。今回のテーマ「ロータリーカップの継続事業について」ですが、「継続事業は独り立ちできるような形にして渡していくのがロータリーとしての基本的な考えだよ」という話を聞かせていただきました。「育ていきながら引き継いでいく。そして新しいことを行うのがロータリークラブの基本だよ」というお話をされておりました。

また、数学検定などもやったことがあるのですが、「教育に関する事業なども素晴らしいですね」という意見もいただきました。釧路は学力が低い所なのでお子さんをこちらに連れてこられなかったり、また優秀な子は中学校になると出ていってしまったりします。小学校まではそこそこの学力なのですが、中学校になると

全国平均を下回るので、そこを解消しないと学力向上にはつながらないと個人的には思っておりました。あとは、「長年続いてきた事業はそう簡単に変えられるものではない。そこはロータリー的に今年度・次年度・次々年度の会長さんが決まって、3年とかの年月をかけて物事を決めていくのもいい」とお伺いしました。

あと、情報集會の予算に関しては、「1,000円アップ」を皆さんの満場一致でいただいております。ただ、個人的には1000円上げた分、量を上げられるとこれ以上は食べられませんので、ぜひ平均年齢を考慮して量より質で、決して量は増やさないでいただければと思います。よろしくお願いいたします。

最後になりますけれど、サブリーダーの日本生命の伊藤さんの情報で、来年4月から奥さんが釧路に来るということで、12年間の単身生活に別れを告げるそうです。4月からの住む家を探していたので、僕の目の前の不動産の説明ができる方を紹介させていただいたら、早速ロックオンされておりました。拓殖不動産よりいい物件をお持ちの方、情報をお持ちの方は伊藤さんに連絡してあげてください。

以上、Dグループの報告終わらせていただきます。

### Eグループ 樋口 貴広君



Eグループの樋口です。当日はメンバーが9名と、この日が研修委員としてのデビューだった杉村委員の10名、という大人数の開催となりました。

私、10年以上所属していて、こんなに多かったのは初めてと感じております。リーダーの二宮さんの人間性・カリスマ性が良いからこれだけ多くの人が集まったのではないかなと思っています。

アイスホッケーについてですが、意見が分かれました。まず、見直すべきという意見は、「社会情勢の変化もあって、当初の目的から随分変わってしまった。ここ数年はインターハイの全国大会の前の調整の試合のようになってしまったと感じる」とのことでした。「元々、注目されない選手に活躍の場を提供するとして始まった大会ですので、それを考えると、今後は大会数の少ないマイナーな競技の大会を開催するとか、中学の硬式野球のように札幌などに行かないと参加できない大会を釧路で開催してはどうか」「同じ競技でも、男子に比べて注目度の低い女子の大会・試合を開催するといい」などと出ておりました。

一方、「アイスホッケーは『氷都釧路』を掲げるこの街にとってPRできる競技であること。また、青少年

奉仕に留まらず社会奉仕にもつながっているのを簡単に止めるのはどうだろうか」という意見もありました。いずれにしても、「今後の運営方法、支援する期間を考慮しながら意見を出し合って、進めていくべきではないか」という意見で一致しました。

あと、嵯峨記念育英会についても「支援額は今年増やして、たくさんの応募があったのでとても良かった」という意見がありました。ただ、「人数はもう少し絞っても良いのではないか」という意見も出ておりました。最後に情報集会の会費についてです。『瓢』さんで開催していたのですが、社長から「何を飲んでもいいよ」と言われたようで、それを伝えられた途端、「俺は『獺祭』をくれ」とか「田酒を」と言って遠慮なく飲んでいましたので、みんなは「1,000円上がって6,000円」で納得しておりました。ということで「4,000円＋2,000円で6,000円で良いのではないか」とまとまりました。以上です。

## Fグループ 中村 司君



Fグループの発表させていただきます。私は以前にコロナに罹って、後遺症でまだ気管支が荒れているものですから、たまにせき込む

ことあるかもしれません。ご了承いただきたいです。私は情報集会に2回目の出席であります。例会ではいつも固まったような席で同じような方とお話する機会しかないのですが、情報集会はメンバーをシャッフルした形で、いろんな方とお話できて良いなと思いました。

そういう雰囲気の中で始まった情報集会ですけれども、議題のアイスホッケーの支援の今後ですが、「70年に亘って続いたロータリーカップの支援をなくすのは忍びない」という意見がありました。

「近年の少子化に伴ってホッケー人口が減ってきたこともあり、だんだん時代に合わなくなってきた。これを区切りに一旦やめてはいかが」という意見があり、「ロータリークラブとしてのホッケーへの支援は役目を終えたのではないのかな」ということです。

「それでは、今後の支援にどういうことがあるのか」という意見もありまして、「アイスホッケー以外にもいろいろな競技があるので、『釧路＝ホッケー』のイメージを一旦離れて、他の競技、さらには小学生・中学生を支援対象にするなど、すそ野を広げて考えてみてはいかがか」という意見もありました。「スポーツだけではなくて文化系にも着目してもいかがか」ということで、その方面で頑張っている子どもたちの支援を考えてみてはいかがかと思いました。そうすると「ス

ポーツもそうですけれど、文化系と言ったら多岐にわたってしまうので、特にこの釧路地域で活躍されている方にスポットを当てて支援するのはどうか」という意見もあります。

私も知りませんでしたけれど、「釧路にも芸術家の卵のような方がいるので、そういう方を育てて開花させてあげる支援もどうか」という意見もありました。これらの意見は、最終的に子どもたちが釧路ロータリーにお世話になったということもあって、後々地元に残ってくれることにつながるのではないかと意見もあります。

情報集会の会費についてです。最近の物価高で6,000円はいいのではないかと。その内訳は参加者負担がプラス1,000円なのか、クラブがプラス1,000円なのかですが、クラブの財政状況で「まだある」ということで、「クラブ負担がプラス1,000円で、3,000円ではどうか」という意見がありました。

情報集会では2時間でたくさん意見をいただいたのですが、雑談として、私も五十肩がひどくてゴルフは2年ぐらいいやっていないのですが、そういうお話とかアレルギー持ちで苦しみのお話をして、情報集会の話と同じような熱意をもって話されて終了しました。私からは以上です。ありがとうございます。

## Gグループ 濱谷美津男君

Gグループでリーダーを務めておりました濱谷です。サブリーダーの五十嵐君は出張のため欠席となっておりますが、当初出席される予定



のメンバーが結構欠席で、少ない人数の会議でした。天方君が青少年奉仕について話をされ、アイスホッケーの支援をどうしていくべきかを話し合っていました。発足当初は、ホッケー人口が大変多かったため各高校の選手がなかなか試合に出られないことで、試合にでられる生徒たちを作るための対抗試合として始まったと聞きました。

アイスホッケー人口はかなり少なくなってきておりますし、高校単独でのアイスホッケー部を持っているのは4校ぐらいです。また、各学校の先生の対応のあり方、競技をする生徒たちを呼ぶ中で問題になってきていることもあり、止める・止めないは単年度でどうするかという話ではなくて、継続的に検討していかなければいけない。とりあえず、今やっていることを行いながら年数をかけて検討した方が良いのではないかと議論されました。

「人数が少なくなってきたからこそ、逆に釧路クラブでアイスホッケー大会を存続していく意味がある」と



いう意見も出ています。それを釧路だけではなく、全道に広げることも含め、検討できることがあるのでは」も出ております。

いろいろな工夫をしながらで、ロータリークラブが単年度で動いている組織でもありますし、先ほど言った様々な教師のあり方、考え方、それから生徒の要望を考えながら、簡単に「止めます」とはならないのではないか。みんなで話し合い検討していかないと、が結論であります。

「今の釧路クラブは若い人もいれば年数を積んだ人もいます。分け隔てなく話すことのできる釧路クラブのあり方が大事で、その中で検討することがさらに大事なのだろう」という結論が出てまいりました。

最後に、会費ではなくて、予算の問題です。これは特に意見もなく「そうだよね」という話で終わってしまいました。

炉辺会合のように飲酒を含めて楽しい話ができる場がもっとあればいいのかなと思います。以上で終わります。

#### Hグループ 池田 一己君



Hグループのサブリーダー池田です。当日は天方研修委員長を含めて10名で、和気あいあいと盛り上がった会合になりました。

ホッケーに関しては他のグループからも出ていますとおり、「いま役割・環境がかなり変わってきている」と意見が出ておりました。あと、炉辺の会費については、「会員のお店を使わせていただいて、提供いただいている料理や飲み放題を考えると5,000円は安すぎる」という意見が出ておりました。

私たちの会場は『華蔵』さんでしたが、飲み放題にワインバルが設けられていて、最初に栗林さんと篠原さんだけがワインを飲んでいましたが、だんだんみんながワインに引きずられていって、半分以上がワインで1次会からどっぷりつかっていた感じでした。

「中学校の親善硬式野球がどうして7分区なのですか」と聞いた時に、「過去に邵さんの熱意でスタートしたけれど、他の地区からのオファー、申し込みがあまりにも多かったのが、これは7分区でやろうという経緯に」と。これが勉強になりました。

常に盛り上がり過ぎると話題がずれていって、野球の話から運動公園の話になって、運動公園から鹿を襲っている野犬の話になって、青少年から離れていくのです。昔の市民憲章では「野犬のいない衛生な街を作ろう」とあったという話をしていました。

サブリーダーとしてこういう会議のメモを真面目に

取っていると、会議の会話がなぜ脱線していくのかが分かったような気がします。何とか菅原リーダーと青少年の話題にもっていき、健全な育成にするためどうするという話に引き戻していったのですが、最後は「われわれの健康の話」になってしまって、やはり「青汁を飲んでいる」とか「シジミだ」「カキエキスだ」とか、そんな話で炉辺が終わってしまいました。ありがとうございました。

#### Iグループ 市橋多佳丞君

Iグループのリーダー・市橋です。サブリーダーの北畑君は社用で欠席になりました。代わりに私から報告させていただきます。



Iグループは『朴然』さんで楽しく開催をさせていただきました。また、谷川会員から貴重な芋焼酎の一升瓶の差し入れをいただきまして、おいしくお酒を飲みながら焼き肉をつまむ素晴らしい炉辺会合だったと思っています。

初めに天方リーダーから炉辺会合の会費の件で提案があったのですが、その一升瓶を目の前にして誰も首を横に振れる人間は1人もいませんで、即答で「いいのではないのでしょうか」となっております。また、予算の割り振り等については今後検討していただければと思います。

青少年奉仕が議題となりまして、Iグループには今年度の青少年の委員長と前年度の青少年の委員長の2人がいましたのでそれぞれに意見を伺ったところ、「野球、ホッケーもそうなのですが、ロータリーの単年度的な役割分担のこともあり、どうしても不連続の連続になっているということで、ひとつひとつの事業の検証がしにくい環境にあることが、この『青少年奉仕について』というテーマになっているのではないだろうか」という提案がありました。

財政的なことで野球・ホッケー合わせて多少の赤字運営もあったようです。「担当者がクラブ外にいたので綿密な打ち合わせを当年度にやっても、それが次年度に受け継がれていかない流れがある」などを聞くことができました。ロータリー側の取り組みの担当を委員長や専任の担当者などを考えてはどうか」という意見も出ました。

またメインのホッケーですが、「30年ほどやってきて、道筋というものは大方付けられているだろう。それはあくまでクラブ側の理論であって、参加されている子どもたちは高校生で、3年で皆さんが入れ替わる。その子どもたちの青春時代は、年数が経っても変わっていく時代の中で脈々と継がれていた。その時の対象が

代わっているのですそんなに変わらないのではないだろうか」という意見が出ておりました。

そういったことも組して、人口減少もあると思います、氷都釧路、ひがし北海道クレインズの問題もありますので、この釧路から盛り上げていくことが重要であると感じさせていただきました。

30年ぐらい前に開始された事業で、開始当時の諸先輩たちの熱い思いが最近入ったメンバーには継承されていないので、今後の炉辺とか夜間例会を使って、われわれが前のめりに聞いて行かないとダメだと思います。そういった先輩たちとのふれ合いをしなければならぬと思いました。

その他のことになるのですが、こういったスポーツ全般の中で、「この釧路地域にあるサッカーグラウンドの人工芝化が進んでいない」という現状の話をしていただきました。「釧路地域はサッカーだけではなくてスポーツ施設が全体的に遅れていると高校進学段階で、中学で芽のある子どもたちは釧路を離れてしまう。これは少なからず釧路にとって不利益になるのではないかと。子どもたちをしっかりと釧路で教育し続けるために整備が必要」と、ある方が申しておりました。そういった炉辺会合となりました。

これは蛇足ですが私、本年度会員増強の副委員長させていただいている流れで、サブリーダーの北畑君は仕事が忙しくてなかなか出られなかったのですが、「北畑君に出て欲しいのだ」という天方リーダーの思いを受けて、何とか参加してもらうことができました。楽しくお話をされている北畑君を見て、こういったことが必要なのだと痛感させられました。

今後もそういった側面を持ちながら参加させてもらえればと思っています。以上でございます。

## 「グループ 黒田 恒史君



うちのリーダー・林英樹君のお子さんがホッケーをやっていることもあって、非常に興味深い話を聞いたのでそこを中心に伝えさせていただきます。

今、アイスホッケー部を持っている釧路市内の高校の状況はどうなのかという話です。

釧路の公立高校の江南高校は「3年生が卒業した時点

で部員が4名となってしまう、来春は部としての活動はできないのでは」と言われているそうです。釧路工業高校も「プレイヤーが6名、キーパーが2名で、8名ということで来年に入ってくるのは分からないので非常に深刻だ」と。釧路湖陵高校は「今年20年ぶりにアイスホッケー部が復活したのですが、プレイヤーが6名、キーパーが1名、7名でやっていて、受験に合格しなければいけないので全然分からない」ということです。私立高校の武修館高校は「今の部員数が20名で、来春も約30名程度の入部になるのではないかと」言われているそうです。

この公立から私立への片寄りは、釧路でも、帯広・札幌・苫小牧・青森県でも同じような状況が続いていることで、公立高校と私立高校の力の差が歴然となってくると言われているようです。

9月中旬に行っていますが、釧路で練習試合に参加するのは従来であれば、白樺高校、清水高校、苫小牧中央高校ですが、今年に限っては「少人数と対戦しても何にもならないから、やらない」と要請がきたようで、釧路としてはとてもショックを受けております。

父兄からは、「釧路ロータリーカップを開催していただくのであれば、過去の人数が多くて試合に出られない選手を出すことがメインの大会でなくて、1回戦で負けてしまうような弱小チームに焦点を当ててやっていただけないだろうか」という意見も出ているそうです。極端な話では、「参加校を公立高校、普通科、理数科、工業科に限定してほしい」という意見が出るそうです。

林リーダーから「そういう話になると、釧路は2校、帯広は1校、苫小牧も2校ということになって、参加校は少なくなります、今の時代に合った意味のあるロータリーカップになるのではないかと」の発言に、参加していたメンバーが衝撃を受けていました。

炉辺会合の会費に関しては、「本当に安すぎる。今の時代で3,000円は学生の飲み会じゃないのだから、もっと上げてもいいだろう」と。「4,000円負担・クラブ負担2,000円、6,000円でいい」「甘い、5,000円・2,000円の7,000円でいい」と出たのですが、「どうせメンバーのお店にお世話になるわけですから、気持ちよく参加するためにも3,000円はやめよう。会員が8,000円、クラブから2,000円。10,000円でやろう」と私たちはキリのいいところで、会合は終了しました。以上です。

## 本日のニコニコ献金

- 清水 輝彦君 今回で10回目の例会司会、少しずつ慣れてきましたが、これからも宜しくお願い致します。
- 中島 徳政君 当社の釧路チーズケーキが2021-2022で台湾の方が選ぶひがし北海道アワード第2位に選ばれました。ありがとうございます。

今年度累計 85,000円